

地域の  
福祉

## かけはし

第57号

2020年4月1日発行  
発行人:川辺 清三  
編集責任者:矢高真理子

## 甚大な水害から学ぶこと

## その日10月12日、平瀬川の氾濫

10月12日(土)から13日(日)にかけて東日本に記録的な大雨をもたらした台風19号は私達の住む地域に大きな被害をもたらした。

朝8時、高津区役所危機管理室に町会役員が電話で西高津中学校の避難所開設について確認したところ「10時の開設に向け打ち合わせ中であり、風水害は行政で対応するので町会からの出動は不要」との返事があった。この時すでに多摩川の水位は上がり河川敷の中洲も見えなくなってきていた。

午前10時、避難所が開設されたことを町会員に緊急メールで発信。その後も情報を共有することに努めた。

午前11時、浸水想定区域に警戒レベル4、避難勧告が発令。町会内を巡回、異常なし。

午後1時、平瀬川河口右岸壁の排水口から逆流が始まり、ポンプ車での排水を消防に要請。すぐに消防車が到着するも増水が激しく作業を断念。

午後4時40分、危機管理室より平瀬川は危険水域を超えたとの連絡、広域無線と広報車で流域住民に避難を開始するよう再度巡回。

夕方にかけて一層風雨が強くなり、西高津中学校への避難が続いた。

午後7時40分、平瀬川のあちこちの排水口より多量の水が逆流し住宅地に流入。

午後11時、コンクリート壁を越水した平瀬川はかすみ堤防に迫り一帯は水で覆われ緊急車両用の橋梁も水没した。

被害は多摩川流域と平瀬川流域が著しく、市内全壊の38戸はすべて高津区内で起こり、広範囲にわたり浸水した溝口や久地の一部地域では2階まで床上浸水している。マンション1階の水没で男性1名が犠牲になった。



## “わかる”から“かかわる”へ!

台風一過の13日からは連日、安否を心配し多くの親戚や友人知人、ボランティアの会、高津小、下作延小、久地小、西高津中のおやじの会、市職員ら多くの人々が後片付けに入った。大混乱の中で現地の復旧復興が始まった。

お互いに支え合う「向こう三軒両隣」という町会に根ざした助け合いが地域復興への大きな支えとなっている。

“支え合う仲間がいる、語り会える友がいる”ご近所(近助)で助け合う関係を今こそ築いていきたい。“わかる(理解)”ことから“かかわる(行動)”ことを!

日頃の隣近所との関係づくりがいかに大切か!被災地域は今、身を持ってこの絆の大切さを感じている。

## 四町会に見舞金を贈呈

台風19号により、わたくしたちの地区である溝口第六町内会、久地第二町会、久地東町会、宇奈根町内会の各地域で家屋の浸水等大きな被害を受けました。地区社協として、ささやかではありますが災害見舞金として各町会に10万円を贈呈しました。被災した方々に改めてお見舞い申し上げます。





# 地域福祉懇談会 人生100年代

高津区社会福祉協議会主催の3ヶ所目の地域福祉懇談会（高津第一地区社協）が、1月21日（火）、29日（水）、2月12日（水）の3回にわたって開かれました。人生100年時代と言われる今日「健康で安心して過ごせる地域であり続けたい」という願いを語り合い、今後の取り組みについて考える機会になりました。



後藤 純 講師

## 私たちの地域の強みと課題



第1回・第2回はくじ老人いきいの家で、第3回は大山街道ふるさと館で行われ、毎回約40名の参加がありました。

開会式では、富田 誠会長が主催者を代表して挨拶、コーディネーターの後藤 純氏（東京大学・特任講師）が「人生100年時代の迎え方」と題して講演。高齢者の加齢による自立度の変化、地域包括ケアシステムの現状。健康寿命をのばすためにはボランティアへの参加と地域に居場所を作ることがキーポイントとの話がありました。

その後、参加者は4グループに分かれ、居住地域の「医・食・住」について「良いなと思う点」「いまいちと思うところ」を出し合い、その結果を全体で共有しました。

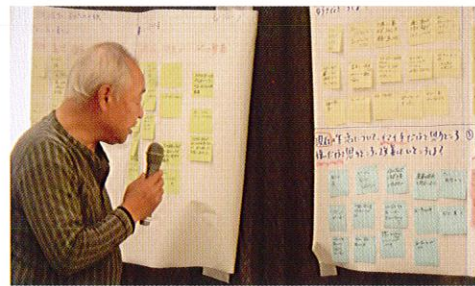
第一地区社協の地域は、多摩川に近く自然が豊かで円筒分水やかすみ提の桜など環境が良いこと、スーパーや病院・学校・保育園が近く、交通の便もよく生活しやすいなどが「良い」。一方、高齢者の交流の場が乏しい、町会役員などのなり手が少ない、集合住宅が増え近所付き合いが希薄になったなどが「いまいち」とのことでした。



## 気軽に集える場所が欲しいね!

最終回は、前回までの内容を受け、①気軽に立ち寄りおしゃべりできる場作り②子育て世代が相談できる場作り③自立生活と健康維持につながる場作りの3テーマからグループごとに一つを選び「どんなことをしたいか」「何ができるだろうか」を話し合いました。

講師からそれぞれのテーマについて「週1回・1～2時間程度・7～8人位集まれる場所」を考



えるようアドバイスをうけ、事例紹介も示されました。

3回の懇談会で活発な意見交換ができ、これをベースに新しい取り組みが始まることが期待されます。

## 第13回 くじふれあいまつり

11月16日（土）小春日和の中、くじ老人いきいの家とくじ保育園を会場に、延 300 人ちかくの来場者を迎え盛大に開催されました。

午前中は、ヘルスパートナーによる健康体操、教養講座受講者が詩吟・踊り・カラオケ・フラダンスなど日ごろの成果を披露し、来場者とともに楽しみました。今年初参加の「獅子舞」が会場を練り歩き、来場者の健康祈願を行い、会場を大いに盛り上げてくれました。

午後は、高津警察署による振り込め詐欺の防犯講座やくじ保育園児と一緒にふれあい遊びが行われました。

最後は恒例の人気出し物であるビンゴゲームにより会場が熱気に包まれ、参加者全員が景品を頂き、1日楽しむことができました。



# アトラクションが 楽しみな福寿草の会



「福寿草の会」は昭和61年4月から開催され、今年の2月で第195回を迎えました。

年5回の食事会と春・秋の「歩こう会」を行っています。食事会は「大山街道ふるさと館」で女性スタッフが中心となり、バランスのとれた美味しいお昼の食事とアトラクションを楽しんでいただいています。

参加者は65才以上で「ひとりぐらし老人を見守るカード」に登録された方です。詳しいことは地区の民生委員児童委員にご連絡下さい。

## 第192回 9月12日(木) 参加者 71名

敬老祝いで、食事はお赤飯、煮物、天ぷら、梨、紅白饅頭。



アトラクションはバイオリン演奏会でした。「天城越え」や「愛の讃歌」等を弾き、参加者の中には口ずさむ人もいました。



# 令和元年賛助会費 と共同募金

ご協力ありがとうございました

みなさまから寄せられた社会福祉協議会賛助会費は、社会福祉協議会の事業活動に、赤い羽根募金は県内の社会福祉事業に、助けあい募金は年末見舞金やボランティア団体への活動助成金に使われます。

賛助会費 **1,058,000** 円  
募金総額 **2,586,700** 円

地域町会	人口	世帯数	賛助会費	赤い羽根募金	助けあい募金
溝口	15,727	9,019	402,000	898,000	766,900
久地	13,200	6,095	612,000	451,800	270,000
宇奈根	1,581	702	44,000	100,000	100,000
合計	30,508	15,816	1,058,000	1,449,800	1,136,900

注 人口・世帯数は2019年3月31日現在

## 第194回 11月14日(木) 参加者 74名



コロッセ焼売、菊和えもの、コールスロー、柿。

アトラクションは高津警察署員によるサギ防止のお話等がありました。

## 第195回 2月13日(木) 参加者 72名

お弁当、味噌汁、パイナップルと苺。

アトラクションはヘルスパートナー高津の健康体操でした。

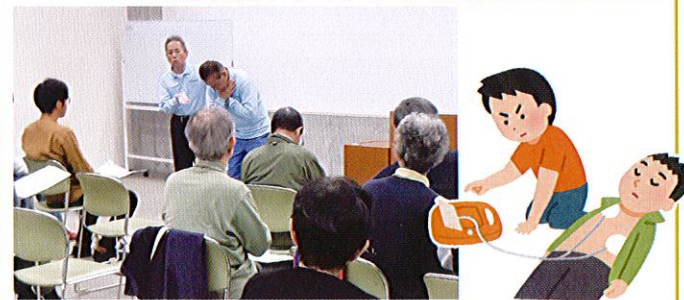


次回の会食会は  
**5月16日(木)**の  
予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

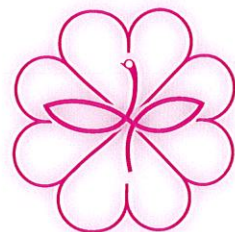
第193回福寿草の会・秋の歩こう会は、水害のため中止となりました。

## 救命講習会 いざという時の底力に

恒例の救命講習会が10月18日(金)大山街道ふるさと館において開催。参加者は18名。高津小避難所運営会議の救護班のメンバーが多く参加されました。活発な質問や、実技の習得に努めました。



# 私たちが地区担当の 民生委員児童委員です!



民生委員のシンボルマーク

任期3年の民生委員児童委員、主任児童委員が昨年12月に改選されました。少子高齢化社会が進み、民生委員児童委員、主任児童委員の活動は、身近な助け合い社会づくりの大切な役割を担っています。

子育て・介護・生活保護など社会福祉に関するご相談がありましたら、御気軽に町会から選出された地区担当の民生委員児童委員にお問い合わせください。

新任	氏名	選出町会	地区
	欠員	溝口第一町会	溝口1-1
	尾藤 光則	溝口第一町会	溝口1-2
	星野 憲司	溝口第二町会	溝口2-1
	柳下 久光	溝口第二町会	溝口2-2
	佐野 せつ子	溝口第三町会	溝口3-1
	加賀見 由	溝口第三町会	溝口3-2
✿	家根谷 早苗	溝口第三町会	溝口3-3
	栗田 廣	溝口本町町内会	溝口4-1
	欠員	溝口本町町内会	溝口4-2
✿	石川 由美子	溝口第五町会	溝口5-1
✿	渡邊 陽子	溝口第五町会	溝口5-2
	足立 良雄	溝口南町会	溝口南
	高橋 郁子	溝口南町会	溝口南
	石塚 幸子	溝口第六町内会	溝口6
	境野 勝之	溝ノ口駅前町会	溝口7
	酒井 豊彦	久地第一町内会	久地第1の上
✿	川邊 裕子	久地第一町内会	久地第1の中
✿	矢島 清美	久地第一町内会	久地第1の下
	新田 昭子	久地第二町会	久地第2
	欠員	久地第二町会	久地第2
	欠員	久地新田町会	久地第3
✿	村岡 早苗	久地第三町会	久地第4-1
✿	野末 明美	久地西町自治会	久地第4-2の上
	欠員	久地西町自治会	久地第4-2の下
✿	川邊 清三	久地第三町会	久地第4-3
✿	吉本 長男	久地第三町会	久地第4-3
	欠員		久地第5 (ガーデンアクアス)
	川辺 洋一	久地東町会	久地東
	大竹 静榮	宇奈根町内会	宇奈根
	若林 豊茂美		主任児童委員
	欠員		主任児童委員

改選された  
高津第一地区社協役員  
12月19日臨時総会で決定されました。

新任	役職	名前	所属
	会長	川邊 清三	久地第3町会
	副会長	栗田 栄治	久地第2町会
✿	副会長	星野 憲司	民生委員児童委員
	会計	佐野 せつ子	民生委員児童委員
	理事	河西 良則	溝口第5町会
	理事	村田 裕志	溝口第3町会
	理事	河原 一夫	宇奈根町内会
	理事	矢島 眞理子	保護司
	理事	石塚 卯三夫	くじいこいの家運営委員
	理事	若林 豊茂美	主任児童委員
	理事	吉田 勇	保護司
✿	理事	石塚 幸子	民生委員児童委員
	理事	川辺 洋一	民生委員児童委員
✿	理事	足立 良雄	民生委員児童委員
✿	理事	大竹 静榮	民生委員児童委員
✿	理事	新田 昭子	民生委員児童委員
✿	会計監査	石塚 武志	溝口第1町会
✿	会計監査	高橋 郁子	民生委員児童委員

## 編集後記

地球温暖化による自然災害、「30年以内に約70%の確率で発生する」とされる首都直下大地震。昨年の台風被害を大きく上回る災害がこれからも予測されます。被害からの復興で一番大切なのは一番身近な「ご近所での助け合い関係」です。(A)

編集委員 足立良雄・川辺洋一・佐野せつ子・  
矢島眞理子・若林豊茂美・望月正一・横山滋

高津第一地区社会福祉協議会 事務局  
高津区溝口1-6-10 てくのかわさき 3F  
TEL. 044-812-1879 FAX. 044-612-3548